

令和元年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 地域人材教育開発機構
氏 名 東 大史

活動テーマ	明和町民とつくるDMO設立に向けたRESASを活用したデータマーケティング
実施期間	平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容 明和町においてRESASを活用した町民や観光客の動きを分析、着地型ツーリズムのプログラム策定を実施した。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与，広がり） 分析したデータをもとに、朝夕に乗降客数のある斎宮駅前において「満月屋台」というイベントを毎月開催し、地域住民参加型の定期イベントとして三重大生も参加しながら交流するようになった。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況 明和町の行政からは、地域住民と結び付くための働きかけや各種イベントを実施するための許認可等において尽力していただき、良好な関係性で受入れをしてもらっている。</p> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり 同様の地域貢献活動を進める皇學館大学と連携し、双方の学生が交流しながら未利用の空き家やキャンプ場等を活用するアイデアを提案するといった形での域学連携の現場となっている。</p> <p>(5) イベント等開催実績（名称，実施場所，参加人数等） 9月15日 第一回満月屋台 斎宮駅前広場 約20名 10月14日 第二回満月屋台 斎宮駅前広場 約30名 11月12日 第三回満月屋台 斎宮駅前広場 約40名 12月12日 第四回満月屋台 斎宮駅前広場 約30名 1月11日 第五回満月屋台 斎宮駅前広場 約30名 2月9日 第六回満月屋台 斎宮駅前広場 約30名</p> <p>(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について 明和町のDMO/DMCとして一般社団法人明和観光商社を設立し、着地型ツーリズムの企画やふるさと納税返礼プロジェクトの立案、地域住民と共同した資源活用プログラムの策定といった業務を始めている。 実際に明和町の令和元年におけるふるさと納税金額は10億円を突破し、次年度以降は自走可能な状況となっている。</p>

